

学科 Website 改善に向けての提案と作例

Proposals on Reforming the Department Website Coded by the Former Studies.

CS37 野澤 健
指導教員 杉本文司

1.はじめに

2008 年度情報工学科卒業、横井達哉の卒業研究『学科 Website 改善に向けての提案と作例』を引き継いだテーマである。

横井の提案した Website は中学生を対象にした分かりやすいものであった。学科イメージにイラストを多く使った特徴があった。

受験を控える中学生視点で、情報工学科の現状を把握し易い Website を目標に改善を行っていた。しかし、以下の問題点が見られた。

- (1) 学科イメージをイラストのみで表現していた。
- (2) 色の統一により地味になってしまった。
- (3) 一般的に利用している一部のブラウザで Website のレイアウトが乱れてしまった。
- (4) テキストとテキストのリンクが同色でリンクを見逃してしまう可能性があった。
- (5) コンテンツが的確であるか検討不足であった。

目的としては、現在、サレジオ工業高等専門学校情報工学科の学科 Website が存在していないので、これらの問題点を改善し製作することと、より継続できるようなシステムを提案することである。

2.研究アプローチ

全国工業高等専門学校 64 校中の情報系 Website47のトップページについて調査を実施した。

特にトップページに着目したのは、Website で誰もが必ず通るページであり、もっとも重要だと考えたからである。

同時に、トップページにあるコンテンツ項目とその総数、画像の有無・枚数・形式、使用言語等について調べた。

以上の調査の結果に基づき、学科 Website を制作する。

学科 Website を制作する学生と管理者の先生とのやり取りがしやすいような形として Website を制作するうえの項目チェックシートを提案する。

3.結果

全高専情報系学科 Website の調査

結果の一部ではあるが図.1 のようになり、コンテンツ項目では、以下の 6 点である。①教員(スタッフ)紹介 38 校、②学科紹介 33 校③就職・進学(進路)32 校、④カリキュラム(授業内容)22 校、⑤卒業研究のテーマを含めた研究室紹介 15 校、⑥中学生に向け

てのメッセージ 16 校、となった。

以上のことから受験を控える中学生に向けて製作していることがわかった。

またコンテンツ総数では、は6つ以下が 8 校、12以上が 9 校、7つ・10 つが 6 校あった。

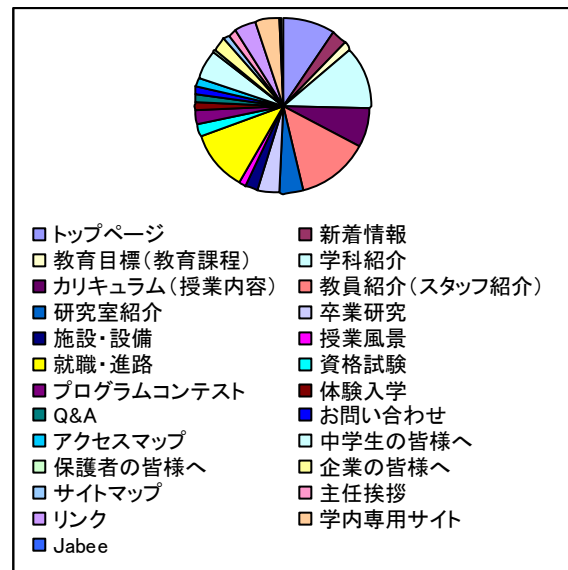


図 1 全高専情報系学科 Website コンテンツ項目

詳細結果は本論文を参照して頂きたい。

4.考察

所属している情報工学科でありながら Web サイトが無いので気になっていた。以前から機会があれば取り組みたいと考えていた。一時的な行動ではなく継続的に維持したいと願っている。

学科 Website 制作する学生と管理者先生とのやり取りがしやすいようにチェックシートという形を提案製作もした。これにより、さらなる学科 Website に向けて改善を行っていただきたい。

Website の構成や制作は、本卒業論文に詳細を記述してあるのでアドバイスやご意見を頂戴したい。

文献

- [1] 横井達哉, “学科 Website 改善に向けての提案と作例,” (2008)
- [2] 松原慶太, 高広伯彦, 立山信一, 大藤幹, 小村まみ, 立木久之, 森一磨・『標準 Web デザイン講座基礎編 第二版』・翔泳社(2006)

その他多数 論文参照.